

2020年度跡見学園女子大学附属心理教育相談所活動報告

1. 2020年度 年間活動報告

所員の構成

令和2年度の相談所の所員構成は、相談所相談員・補助相談員（臨床系教員）11名、事務担当者3名、インテーク面接担当者9名であった。

令和2年度相談員・補助相談員と開所日

令和2年度相談所開所日と相談員・補助相談員は以下のごとくであった。

令和2年3月から令和2年4月7日（火）開所とした。令和2年4月8日（水）から令和2年6月30日（火）までは閉所とした。令和2年5月22日（金）より「遠隔カウンセリング」を開始した。

令和2年7月1日（水）より感染予防に配慮し部分的開所とした。令和2年9月11日（金）から感染予防に配慮し知能検査の実施を再開した。令和2年10月23日（金）から感染予防に配慮したプレイセラピーの実施を再開した。

相談員	松崎くみ子	（臨床心理学科・教授）
	阿部 洋子	（臨床心理学科・教授）
	新井 雅	（臨床心理学科・准教授）
	小栗 貴弘	（臨床心理学科・准教授）
	酒井 佳永	（臨床心理学科・教授）
	野島 一彦	（臨床心理学科・教授）
	板東 充彦	（臨床心理学科・准教授）
	前場 康介	（臨床心理学科・准教授）
	宮岡 佳子	（臨床心理学科・教授）
	宮崎 圭子	（臨床心理学科・教授）
補助相談員	鈴木 真理	（臨床心理学科・特任教授）

相談所周知のための活動

本相談所のパンフレットを、他大学相談所等（113か所予定）、近隣小・中・高等学校（100か所）、近隣の保育園・幼稚園・放課後児童保育室（49か所）、教育委員会・教育相談センター等（7か所）、病院・クリニック（2か所）、保健センター・児童相談所・子育て支援センター等（15か所）、その他民間相談室等（7か所）に送付し、あわせて本学公開講座受講者、本相談所無料講習会受講者にも配布した。

大学相談所、教育委員会、病院・クリニック、保健センター・児童相談所、子ども相談室・子育て支援センター等にはポスターも送付した。

また、新座駅・志木駅構内掲示板へのポスター掲示広告も行なった。

【相談所パンフレット】



跡見学園女子大学 心理教育相談所



跡見学園女子大学

■新座キャンパス 心理教育相談所 開室時間(月～土曜日:9:30～16:30)
〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6 TEL:048-478-2177

■文京分室 ATOMI さくらルーム 開室時間(木・土曜日:13:00～16:50)
〒112-0002 東京都文京区小石川5-5-5 プライム茗荷谷ビル7階TEL:03-3944-8151
<http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/index.html>

【ご相談内容】

跡見学園女子大学 心理教育相談所では、以下のような相談をお受けしています。

学校に関する悩み

- 学校にいけない
- いじめにあっている
- 友達とうまく付き合えない
- 学業について困っている など

家庭生活に関すること

- 非行や家庭内での暴力に困っている
- 夫婦・親子・家族関係に悩みがある
- 近所付き合いについて悩んでいる
- 生活環境に問題がある など

職業に関すること

- 仕事がきつい
- 仕事にいけない
- 職場の人間関係で困っている
- 就職・転職について悩んでいる など

育児や障がい児の教育の悩み

- 子育てに困っている
- 障がい児のことで悩んでいる
- 障がい児にどう向き合うか困っている
- 障がい児をいかに育てるかを知らない など

自分自身の性格や健康

- 人と話すのが苦手だ
- 自分の性格について悩んでいる
- 自分の精神的健康に自信がないなど
- 生き方について悩んでいる など

※このようなご相談に対して、カウンセリング、心理療法、心理テストなどを行っています。 ※ご相談内容につきましては秘密厳守いたします。
※ご相談の内容によってはお引き受けできない場合がございます。

不登校を考える親の会(新座：第1、第3木曜日の午前10時～12時、文京分室：第2、第4木曜日の午後13時～15時)

【受付から相談まで】

本相談所は完全予約制となっております。 まずはお電話にてお申し込みください。

【予約受付電話番号】 受付時間：午前9時～午後4時

新座キャンパス心理教育相談所 **048-478-2177**

文京分室 ATOMI さくらルーム **03-3944-8151**

初回の相談の予約をお取りし、ご相談の詳しい内容やこれまでの経緯、その他必要と思われることについて、臨床心理士およびカウンセラーが伺わせていただきます。

※電話での相談は受け付けておりません。また、大学の長期休暇等で受付時間を変更する場合があります。



面接室

- ・本相談所は臨床心理学専攻の大学院生の教育・研究機関を兼ねています。
- ・大学院生が随席および相談を担当させていただく場合がございます。その場合には教員の指導の下に行います。

毎年5回程度、教員による心の問題をめぐる「講習会」(無料)を開催【詳細はホームページ】

【相談料】



- (1) 個人面接 [初回(受理)] 3,000円
[二回目以降] 2,000円
- (2) 並行面接 [各回] 3,000円
- (3) 集団面接 [一回] 1,000円
- (4) 心理検査 [一回] 3,000円
- (5) 子ども支援 [一回] 500円



【アクセス】

新座キャンパス 心理教育相談所

〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6

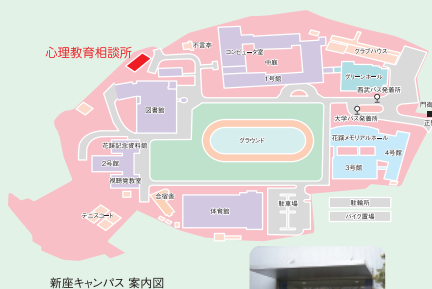
※予約受付電話番号：048-478-2177



○東武東上線「志木駅」下車
南口より西武バス約15分
「跡見学園女子大学」下車



○JR武蔵野線「新座駅」下車
北口より大学バス約7分



新座キャンパス 案内図

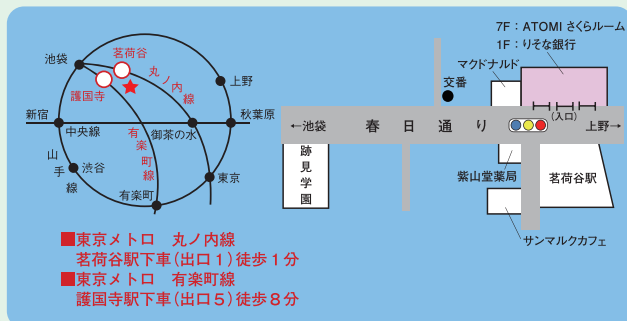


新座キャンパス
心理教育相談所 入口

文京分室 ATOMI さくらルーム

〒112-0002 東京都文京区小石川5-5-5 プライム茗荷谷ビル7階

※予約受付電話番号：03-3944-8151



- 東京メトロ 丸の内線
茗荷谷駅下車(出口1)徒歩1分
- 東京メトロ 有楽町線
護国寺駅下車(出口5)徒歩8分



面接室(さくらルーム)



プレイルーム(さくらルーム)

2. 相談活動報告

2020年4月1日から2021年3月末日までの相談としては、新規相談件数39件、延べ来所件数681件、延べ来所人数760名であった。

来談者の主訴は、子供の学校における問題、引きこもり、親子関係の問題、家族の問題など現代の世相を反映する傾向が認められた。月別来談者数および相談内容は以下のごとく。

表1. 月別来談者数

2020年4月～2021年3月末の来談者数

【新座キャンパス相談所】

	初回相談件数（件）	延べ相談回数（回）	延べ来所人数（名）
2020年 4月	0	13（2）	15（2）
5月	0	1（1）	1（1）
6月	0	17（17）	17（17）
7月	1	34（13）	37（15）
8月	1	45（15）	46（15）
9月	2	58（16）	60（16）
10月	5	58（16）	64（16）
11月	5	59（15）	68（15）
12月	4	60（13）	72（13）
2021年 1月	4	52（16）	63（16）
2月	7	60（16）	69（16）
3月	7	82（16）	92（16）
2020年度合計	36	539（156）	604（158）

【文京分室ATOMIさくらルーム】

	初回相談件数（件）	延べ相談回数（回）	延べ来所人数（名）
2020年 4月	0	1	1
5月	0	2（2）	2（2）
6月	0	12（12）	13（13）
7月	1	12（10）	14（12）
8月	0	9（6）	11（8）
9月	1	17（12）	20（15）
10月	0	20（13）	22（15）
11月	0	13（9）	14（10）
12月	0	19（13）	20（14）

2021年 1月	0	13 (11)	14 (12)
2月	1	12 (8)	12 (8)
3月	0	12 (8)	13 (9)
2020年度合計	3	142 (104)	156 (118)

表2. 来談者の相談内容

2020年4月～2021年3月の来談者の主訴

来談者による主訴の種類	件数
家族の相談	30
自分自身の問題・性格	21
抑うつ・情緒不安定	2
対人関係	2
社会不適應	2
不登校	6
不登校の親の会	1
その他	12

3. 不登校を考える親の会報告

わが国の小・中学生の不登校は相変わらず10万人を超えている。そのような子どもに対して直接働きかけることは非常に難しく、次善の対応として親へのサポートがある。本相談所でもそれを行うべく、相談活動の一環として「不登校を考える親の会」を月に2回（新座キャンパス：第1、第3木曜日の10時～12時、文京分室ATOMIさくらルーム：第2、第4木曜日の午後1時～3時）、開催している。



跡見学園女子大学

跡見学園女子大学附属心理教育相談所

「不登校を考える親の会」のご案内

小・中学生の不登校は、相変わらず10万人を超えています。学校に行かない子どもには、ひとりひとりそれなりの事情があります。

学校に行けない、行きしぶる、教室に入れない、朝起きられない、朝になると体調が悪くなる、イライラしている、落ち込んでいる、昼夜逆転している、部屋に引きこもっている、友達とうまくいかない、こんな様子はありませんか。

このような子どもをどう理解すればいいのか、どう向き合えばいいのか、親の会で、みなさまと一緒に話し合い、考えてみませんか。

***担当スタッフ**：野島一彦（跡見学園女子大学教授 臨床心理士）
他 相談所所員

***日時・場所**：2021年4月より2022年3月まで
（新座キャンパス心理教育相談所、文京分室 ATOMI さくらルームともに開催しています。）

新座キャンパス心理教育相談所

第1・第3木曜日 10：00～12：00（2時間）

<http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/facility/>

文京分室 ATOMI さくらルーム

第2・第4木曜日 13：00～15：00（2時間）

<http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/facility/index.html#bunkyo>

※継続的な参加、単発的な参加どちらでも可能です。

***定員**：8名

***参加費**（相談料）：1回 1000円

***申し込み方法**：希望日の前日16：00までに、
下記へお電話でお申し込みください。
（初めての方は1週間前迄にお申し込みください）



申し込み・お問い合わせ

跡見学園女子大学附属心理教育相談所
（埼玉県新座市中野 1-9-6）

TEL 048-478-2177（相談受付/月～土 9：00～16：00）

ホームページ <http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/index.html>

4. 講習会報告

多くの方々に本相談所の存在を認知して頂くための活動の一環として平成15年度より開催してきた『講習会～こころを癒す～』を、今年度も開催した。

講習会を広報するとともに本相談所の存在を知ってもらい、心の問題を抱えているにもかかわらず専門機関に相談することをためらっている人に、本相談所を訪れるきっかけを作ることを目的とした。講習会の広報については、公共機関での広報、地域広報誌・ホームページへの掲載により行った。

講習会日程と参加人数

今年度は一般対象講習会を新座キャンパスにて全5回、文京キャンパスにて全2回開催した。開催日時およびテーマについては各講習会講師による講習会の概要報告の項を参照されたい。

講習会の延べ参加人数はコロナ禍の影響もあり、新座キャンパス67名、文京キャンパス4名であった。受講者の性別、年齢、職業、居住域、講習会を知った媒体については、以下の受講者傾向を参照されたい。併せて受講後アンケートの結果も以下に示してある。

受講者の傾向（新座キャンパス・文京キャンパス参加者合計71名）

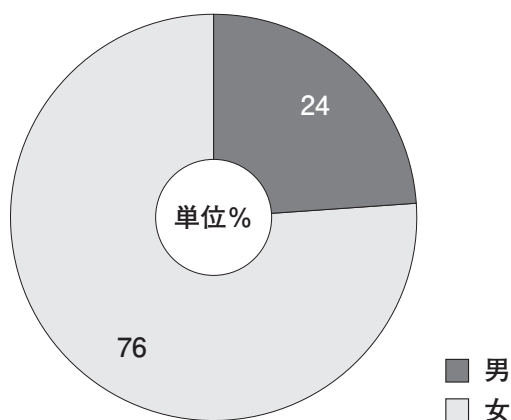


図1 講習会参加者性別構成（N=71）

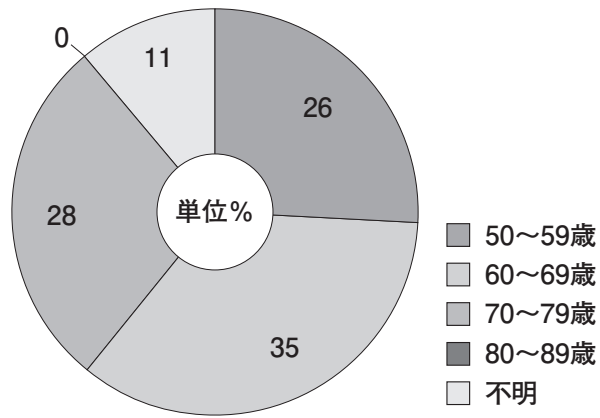


図2 講習会参加者年齢構成 (N=71)

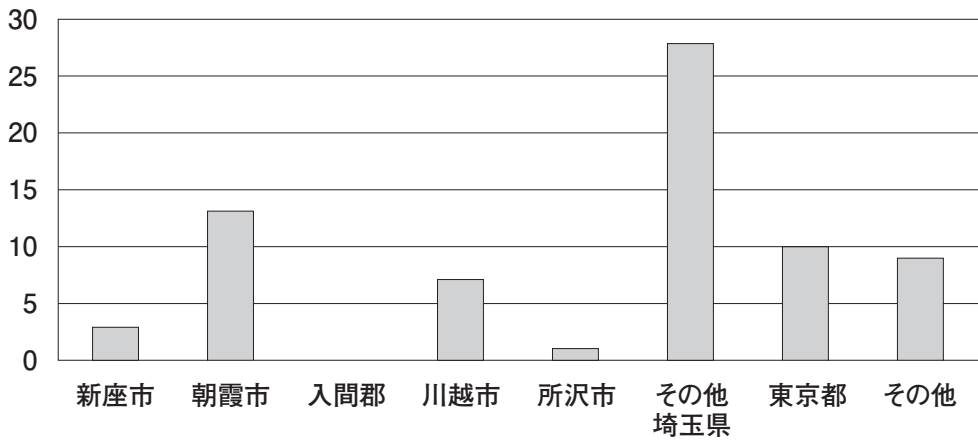


図3 講習会参加者居住地内訳 (N=71)

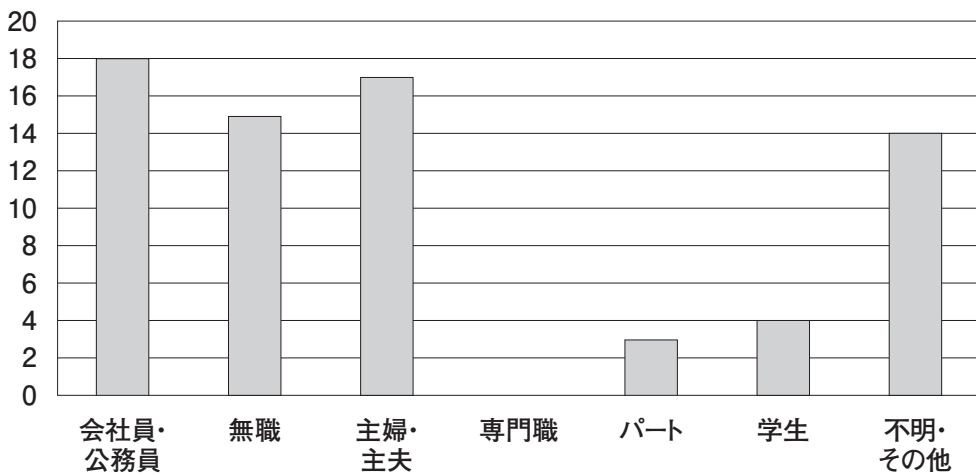


図4 講習会参加者職業内訳 (N=71)

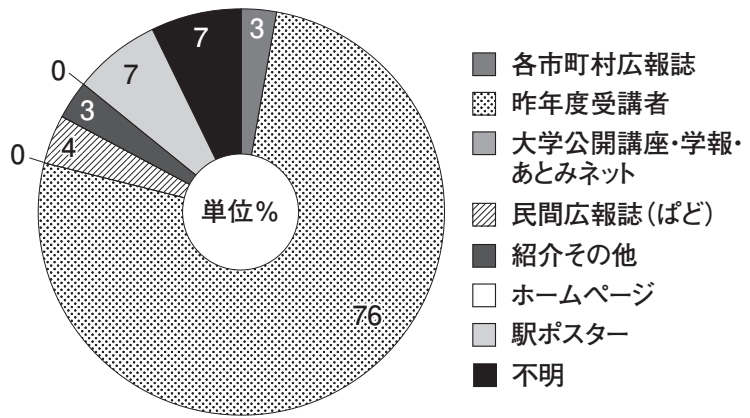


図5 講習会参加者経路内訳 (N=71)

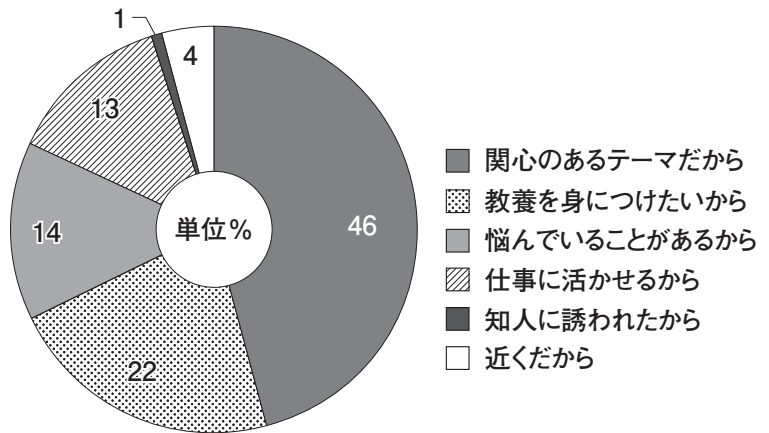


図6 受講した理由 (N=133：複数回答あり)

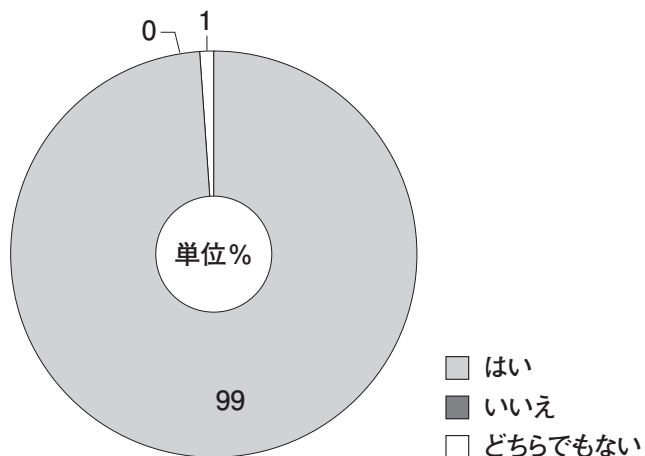


図7 講習会の内容を今後の生活に活かせると思うか (N=71)

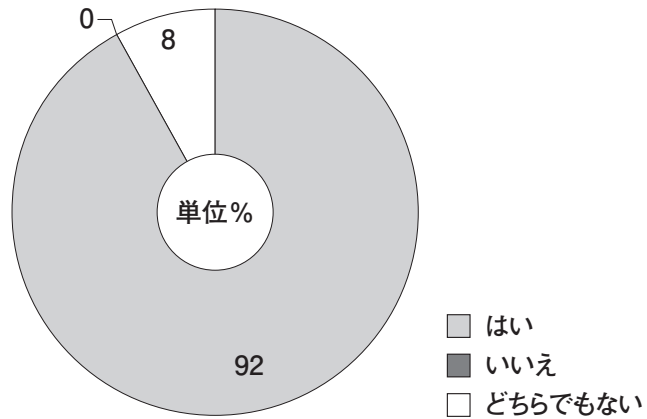


図8 自分自身の悩みや問題を解決する手助けになったか (N=71)

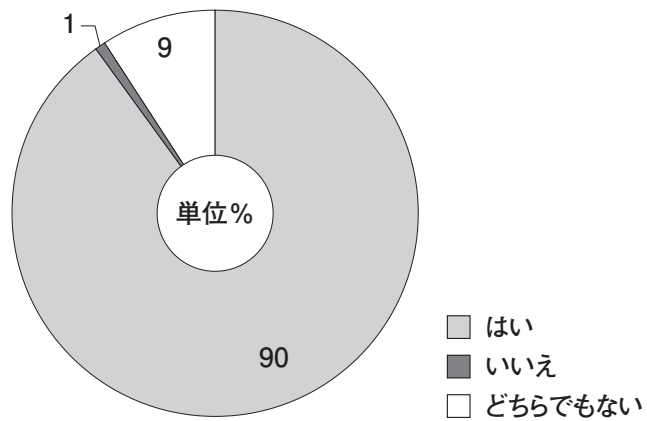


図9 受講内容は期待どおりだったか (N=71)

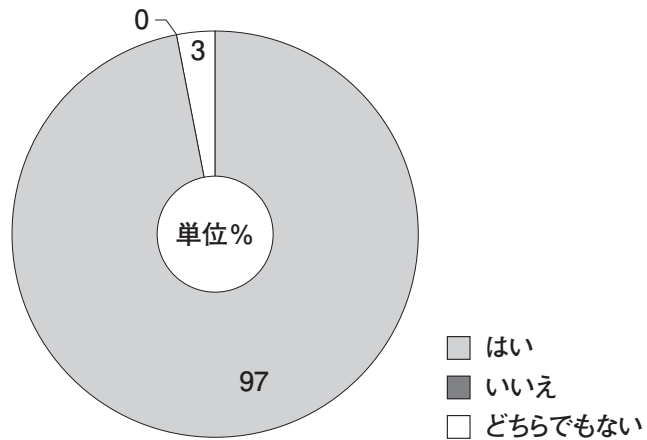


図10 講習会があったらまた参加したいか (N=71)

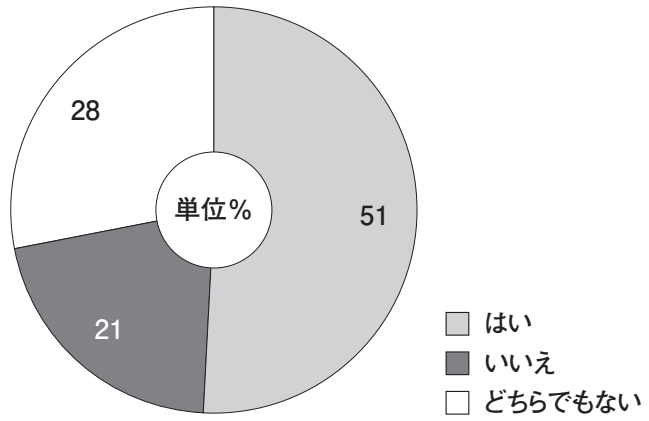


図11 機会があれば当相談所で相談してみようと思うか (N=71)

5. 講習会 概要報告

<1> 12月12日（土）

「助けて」と言えない子どもへの理解と援助—援助要請の心理学 新井 雅

日々の学校生活や家庭生活の中で、心が苦しくなったときに「助けて」と言えずに困難を抱え続けている子ども達は少なくない。自分一人だけでは、解決したりどうして良いかわからない状況の中であっても、助けを求めることができない子ども達の中には、困ったときに誰を頼りにすればよいのか、実際にどのような方法で相談をしていけばよいのかなど、援助要請のための具体的な知識やスキルが不足していることがある。また、「相談するのが恥ずかしい」「人に心配・迷惑をかけてはいけない」「相談すると、かえって悪いことが起きる」「相談してもムダだ」など、他者に援助を求めることを妨げるような複雑な心理状況や背景を有していたり、「助けを求めたくない気持ち」と共に「本当は助けてもらいたい気持ち」も併せ持ったアンビバレント（両価的）な心理を抱えている場合もある。さらに、深刻ないじめや虐待、叱責、差別・偏見等にさらされてきた子ども達の中には、「人は信用できないし、信頼してはいけない」「皆、私を傷つけるに違いない」「私は助けてもらうほどの価値は無い」など、他者からの助け・援助・治療を頑なに拒絶したり、心理的な視野狭窄に陥るなど、健全な私たちで助けを求めることができない状態に追い込まれている場合もある。

以上を踏まえると、「助けて」と言えない子ども達は、困っていても誰にも相談しない「困った子」ではなく、「助けて」と言うことのできない複雑な心理や背景事情を抱えて「困っている子」であると捉えて支援することが重要である。そして、いじめや子どもの自殺など、「助けて」と言えないことに関わる数々の諸問題は、助けを求められない子ども達（個人）だけの責任ではなく、それらのSOSのサインに気づくことができなかつたり、「助けて」の訴えに対して温かく受け止め支えることのできない周囲の人々（環境）との関係で生じる問題とも考えられる。そのため、子ども達一人ひとりに、「助けて」と言えるような知識・スキルを育てるための支援・援助を行うと共に、子ども達のSOSのサインに気づいたり、「助けて」が言いやすくなる周囲のサポート環境を整えていくことが重要となる。それらを通して、実際に子ども達が信頼できる親、教師、友人等に「助け」を求めたときに、苦しい気持ちを受け止めてもらえたり、真剣に話を聴いてもらえたり、問題解決に向けてのきっかけとなるような実体験を1つ1つ積み重ねていくことが必要と考えられる。

講習会では、身近な例を用いながら上述の内容について説明しつつ、子どもへの具体的な関わり方、接し方について解説した。加えて、近年の子どもの自殺予防対策の1つである学校での「SOSの出し方に関する教育」（つらいときや苦しい時には助けを求めても良いのであり、その具体的かつ実践的な方法を学ぶ教育）の実際についても補足的に解説を行った。

< 2 > 12月15日（火）・2月20日（土）

さわやかな対人関係を造るコツを学びませんか？

宮崎 圭子

2020年12月15日（火）新座キャンパスの方は13人、2021年2月20日（土）文京キャンパスの方は2人の参加者であった。後者は、2回目の緊急事態宣言中という事が影響したのか、参加者が少なかった。しかしながら、12月の講習会は、緊急時短宣言中ではなかったものの、コロナ禍の状況はあまり好転していない中での講習会となった。そのことを勘案すれば、13人の参加者数は悪くない数字と言えるだろう。

両方とも、テーマは「さわやかな対人関係でメンタルヘルス力をアップさせましょう」とした。

本講習会は2部構成となっている。第1部は、「導入」部である。第2部が本講習会の目的である「さわやかな対人関係を築く知識・スキル」のレクチャーという構成である。

まず、人類にとって、対人関係の基礎となるコミュニケーションとはどういう特性をもっているのかを、「進化」のプロセスを通して概要した。つまりは、他の動物の目と人類（ホモ・サピエンス）の目の違いはなぜか、ネアンデルタール人はなぜ絶滅したのかを概説した。ホモ・サピエンスにとって、生き残るために発達させねばならなかったのが、対人関係の基礎となる高いコミュニケーション能力なのである。その負の側面として、人類には不変と言っても差し支えないほど、「対人関係の悩み」が大きな課題となっていく。そのことを夏目漱石の「草枕」を引用して説明した。漱石は以下のように説いている。

「ただの人が作った人の世が住みにくいからとて、越す国はあるまい。あれば人でなしの国へ行くばかりだ。人でなしの国は人の世よりもなお住みにくかろう。」と。では、私たち人類にできることは何だろう。そう、「住みにくい人の世の中で、少しでも円滑に生活できるよう工夫すること」しかないのである。いささか「導入」部が長いという印象を持たれる人もいるだろう。が、本講習会の対象となる参加者は、一般の方々である。つまり、心理学等の専門家ではない。一般の方々への講習は、「導入部」（第1部）、つまり「目的」（第2部）への「動機付け」が重要だと考えている。

第2部は、いよいよ本講習会の目的である「さわやかな対人関係を築く知識・スキル」となる。「アサーション」の理論・知識・スキルを概説した。「考え方をさわやかに」のために、心理療法の1つ論理療法の「合理的な考え方」と「不合理な考え方」を紹介した。「不合理な考え方」の起源は何か、それを「合理的な考え方」に変容させるスキルを概説した。

< 3 > 1月9日（土）

怒りのコントロール

板東 充彦

「怒りのコントロール」というテーマで実施した。キーワードは、「アンカーマネジメント」「認知行動療法」「マインドフルネス法」である。冒頭で、怒りに振り回される場면을提示しながら、怒りが生じるまでの段階を説明した。続いて、認知行動療法の理論をも

とに、「Ⅰ 行動の修正」として「1. 衝動のコントロール」と「2. 怒りの表出の工夫」、「Ⅱ 認知の修正」として「3. 記録法」「4. 怒りにくい仕組みをつくる」の順に解説した。

「1. 衝動のコントロール」では、「カウントバック」「グラウンディング」などのアンガーマネジメント技法を紹介した。続いて、マインドフルネス法の「呼吸する」ワークを行い、感情に対する対処法を体験した。「2. 怒りの表出の工夫」では、「I」メッセージ「相手を責める言葉を使わない」などのアサーション・トレーニングのポイントを伝えた。

「3. 記録法」ではアンガーログの実例を紹介し、実際の場面を想起するワークを行った。また、「重要性：高い-低い」「自分で変えられる-変えられない」の二軸からなるストレスログを紹介した。「4. 怒りにくいしくみをつくる」では、実例を紹介しながらトリガー思考と思い込み/認知について解説し、怒りを生じさせる認知の特徴を捉えられるようにした。

コロナ禍で開催が危ぶまれたが、新座キャンパスでの講習会は予定通り実施し、10人以上の方が参加された。コロナ禍で思うようにいかずに不満も高まる中、真剣に講習会に参加して下さった。

< 4 > 1月14日(土)・2月18日(土)

こころとからだを癒す～心身の健康を高めるために～

—健康的な生活習慣を身につけるヒント—

前場 康介

コロナ禍という例外的な社会状況にある中、健康的な生活習慣を維持する重要性がますます重要になりつつある。今年度の講習会はそのような観点からも、「健康的な生活習慣を身につけるヒント」と題し、講演を行った。

心身相関という観点がある通り、我々のこころとからだには密接な関連がある。例えば、緊張や不安が強い場面では半ば自動的に身体が硬直し得るし、逆にリラックスした状態であれば弛緩した状態となる。現代社会において、このようなこころとからだの状態を把握し、適切な対応を図ることは決して容易ではない。不健康な習慣を改善することや、健康的な生活習慣を維持するためには、健康や疾病に対する正しい知識を獲得し、そのうえで自身の現状をアセスメントし、しかるべき対処を行うことが極めて重要である。

講演では、まず参加者の方々に日頃の生活習慣を振り返っていただいたうえで、肥満やメタボリックシンドロームなどの生活習慣病について、疫学的データ等も包含して概説した。さらに、健康心理学における様々な知見や理論・モデルを紹介し、それを日常においてどのように応用できるかについても解説を加えた。具体的には、Transtheoretical ModelやRelapse Prevention Modelである。

後半には、Go/No go Association Taskと呼ばれる潜在連合テストを実際に体験していただいた。このテストは、特に肥満や糖尿病を有する方々においてその成績が有意に低下

すること等を述べ、そのことが不健康な生活習慣を改善する大きな妨げとなっていることをお伝えして、疾病予防の重要性について改めて認識していただいた。そして、不健康な生活習慣の原因となる「ストレス」についても概要を説明し、効果的なストレス解消方法を身に着けるための方法について検討を行った。

コロナ禍という状況のため、ご参加くださった人数は例年より少数とはなったが、本テーマはある程度時宜を得た内容となっていた印象があり、一定の満足感を得て頂くことが可能となった。

< 5 > 2月15日（月）

在宅介護の問題-認知症の人と共に生きるとは-

阿部 洋子

6. OB・OGカンファレンス報告

臨床心理学専攻の修了生（1～13期生：178名）の＜院修了後教育＞として、心理臨床家としての資質向上のために、月2回（木曜1回・土曜1回）「OB・OGカンファレンス」を実施した。以下が今年度の参加状況である。

2020年度 OB・OGカンファレンス報告

跡見学園女子大学人文科学研究科臨床心理士学専攻（令和元年度までの修了生＝178名）
 （会場＝文京キャンパスM1305 or M1303、ATOMIさくらルーム），木曜＝18：40～20：40/土曜＝14：00～16：00

回	日程	OB・OG参加者数	教員参加者数	院生参加者数	総数
1	05月28日（木）	15	1	13	29
2	06月06日（土）	9	1	7	17＋（3）
3	06月11日（木）	11	1	11	23
4	06月27日（土）	11	1	6	18＋（5）
5	07月16日（木）	10	1	5	16
6	09月10日（木）	11	1	5	17＋（2）
7	10月03日（土）	6	2	2	10＋（5）
8	10月15日（木）	10	1	8	19＋（1）
9	10月31日（土）	5	1	4	10＋（5）
10	11月19日（木）	11	1	4	16＋（2）
11	12月05日（土）	7	1	3	11＋（1）
12	12月17日（木）	8	1	3	12＋（2）
13	01月23日（土）	4	1	1	6＋（2）
14	01月28日（木）	9	1	1	11＋（1）
15	02月06日（土）	8	1	3	12＋（9）
16	02月25日（木）	7	1	3	11＋（7）
17	03月13日（土）	6	1	2	9＋（2）
18	03月25日（木）	9	1	2	12＋（2）
	2020年度合計 （のべ数）	157	19	83	259＋（49）

7. 委員会報告

2020年度の委員会は以下の通りであった。

第1回 心理教育相談所委員会

日 時：令和2年6月10日（水） 12：20～12：37

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：松寄くみ子、野島一彦、矢島新、新井雅、酒井佳永、前場康介

- 内 容：1. 令和元年度心理教育相談所活動報告
2. 令和元年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告
3. 令和2年度心理教育相談所活動報告（4・5月期）
4. 令和2年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4・5月期）
5. 令和元年度不登校を考える親の会報告
6. 2019年度OB・OGカンファレンス報告
7. 令和元年度スーパービジョン研修会報告
8. 八千代助産院おとわバース「おしゃべりたいむ」活動報告について
9. 2020年度心理教育相談所広報活動計画
10. 2020年度心理教育相談所講習会の延期について
11. 心理教育相談所5月21日からの〈遠隔カウンセリング〉の実施について
12. 心理教育相談所を開所する場合の〈新型コロナウイルス感染予防対策〉
13. プレイルーム1の雨漏れについて

第2回 心理教育相談所委員会

日 時：令和2年10月21日（水） 12：17～12：30

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：松寄くみ子、野島一彦、矢島新、新井雅、酒井佳永、前場康介

- 内 容：1. 令和2年度心理教育相談所活動報告（4月～9月期）
2. 令和2年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4月～9月期）
3. 文京区教育センターとの連携について
4. 令和2年度心理教育相談所紀要について
5. 令和2年度心理教育相談所講習会について
6. 6月29日からの開所について
7. 開所日程の変更
8. 新型コロナウイルス感染予防対策の知能検査方針
9. 新型コロナウイルス感染予防対策のプレイセラピー実施方針

第3回 心理教育相談所委員会

日時：令和3年2月10日（水） 12：20～12：30

場所：TeamsによるWeb会議

出席者：松寄くみ子、野島一彦、矢島新、新井雅、酒井佳永、前場康介

- 内容：1. 令和2年度心理教育相談所活動報告（4月～1月期）
2. 令和2年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4月～1月期）
3. 令和3年度心理教育相談所予算申請について
4. 文京区教育センターとの連携について（4月～1月期）
5. OB・OGカンファレンス報告（4月～1月期）
6. 令和3年度心理教育相談所開所日程（案）
7. 令和3年度心理教育相談所インターン合否判定

8. 担当者会議報告

2020年度の心理教育相談所担当者会議開催は、以下の通りであった。

第1回 心理教育相談所担当者会議

日時：令和2年4月8日（水） 12：37～13：10

場所：演習室（Zoomによる遠隔含む）

出席者：松寄、阿部、新井、小栗、酒井、鈴木、野島、板東、前場、宮岡、宮崎

- 内容：1. 令和元年度心理教育相談所活動報告
2. 令和元年度大学院学外実習報告
3. 令和元年度不登校を考える親の会報告
4. 令和元年度OB・OGカンファレンス報告
5. 八千代助産院おとわバース開催について
6. スーパービジョン研修会報告
7. 文京区教育センターとの連携
8. 令和2年度心理教育相談所講習会について
9. 心理教育相談所補助相談員の任命に関する件
10. 令和2年度心理教育相談所担当者一覧について
11. 文京分室ATOMIさくらルームの臨時閉所について
5月30日（土）：ビル点検による全館停電のため臨時閉所
12. 緊急事態宣言に対する対応

第2回 心理教育相談所担当者会議

日時：令和2年5月13日（水） 12：22～12：35

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：松嵯、新井、小栗、酒井、鈴木、野島、前場、宮崎

- 内 容：1. 令和2年度心理教育相談所活動報告（4月期）
2. 令和2年度大学院学外実習報告（4月期）
3. 令和2年度不登校を考える親の会報告（4月期）
4. 令和2年度OB・OGカンファレンス報告（4月期）
5. スーパービジョン研修会報告
6. 文京区教育センターとの連携
7. 2019年度八千代助産院おとわバース「おしゃべりたいむ」活動報告
8. 遠隔カウンセリングについて

第3回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和2年6月3日（水） 12：22～12：54

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：松嵯、新井、小栗、鈴木、酒井、野島、板東、前場、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 令和2年度心理教育相談所活動報告（5月期）
2. 令和2年度大学院学外実習報告（4・5月期）
3. 令和2年度不登校を考える親の会報告（5月期）
4. 令和2年度OB・OGカンファレンス報告（5月期）
5. スーパービジョン研修会報告
6. 文京区教育センターとの連携
7. 5月21日からの心理教育相談所<遠隔カウンセリング>の実施について
8. 心理教育相談所を開所する場合の<新型コロナウイルス感染予防対策>
9. 心理教育相談所無料講習会の延期について

第4回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和2年7月8日（水） 12：21～12：59

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：松嵯、新井、小栗、酒井、野島、板東、前場、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 令和2年度心理教育相談所活動報告（6月期）
2. 令和2年度大学院学外実習報告（6月期）
3. 令和2年度不登校を考える親の会報告（6月期）
4. 令和2年度OB・OGカンファレンス報告（6月期）
5. スーパービジョン研修会報告
6. 文京区教育センターとの連携
7. 6月29日からの開所について

8. 夏休みの開所日程の変更
9. 跡見M1生のトライアルカウンセリングについて
10. 8月・9月の相談所担当者（案）について
11. 心理教育相談所講習会の日程について

第5回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和2年9月2日（水） 12：20～12：41

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：松壽、新井、小栗、鈴木、酒井、野島、板東、前場、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 令和2年度心理教育相談所活動報告（7・8月期）
2. 令和2年度大学院学外実習報告（7・8月期）
 3. 令和2年度不登校を考える親の会報告（7・8月期）
 4. 令和2年度OB・OGカンファレンス報告（7・8月期）
 5. スーパービジョン研修会報告
 6. 文京区教育センターとの連携
 7. 第4回文京区ひきこもり等支援者連絡会
 8. 心理教育相談所紀要第17号への投稿について（投稿申込期限：10/16）
 9. 新型コロナウイルス感染予防対策の知能検査実施方針

第6回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和2年10月7日（水） 12：22～12：45

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：松壽、新井、小栗、鈴木、酒井、野島、板東、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 令和2年度心理教育相談所活動報告（9月期）
2. 令和2年度大学院学外実習報告（9月期）
 3. 令和2年度不登校を考える親の会報告（9月期）
 4. 令和2年度OB・OGカンファレンス報告（9月期）
 5. スーパービジョン研修会報告
 6. 文京区教育センターとの連携
 7. 文京区引きこもり等支援連絡会
 8. プレイルームの改修工事について
 9. 心理教育相談所講習会の日程について
 10. 検査実習 実習ノートについて

第7回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和2年11月4日（水） 12：20～12：43

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：松嵯、新井、酒井、野島、板東、前場、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 令和2年度心理教育相談所活動報告（10月期）
2. 令和2年度大学院学外実習報告（10月期）
3. 令和2年度不登校を考える親の会報告（10月期）
4. 令和2年度OB・OGカンファレンス報告（10月期）
5. スーパービジョン研修会報告
6. 文京区教育センターとの連携

第8回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和2年12月9日（水） 12：21～12：40

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：松嵯、新井、小栗、鈴木、酒井、野島、板東、前場、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 令和2年度心理教育相談所活動報告（11月期）
2. 令和2年度大学院学外実習報告（11月期）
3. 令和2年度不登校を考える親の会報告（11月期）
4. 令和2年度OB・OGカンファレンス報告（11月期）
5. スーパービジョン研修会報告
6. 文京区教育センターとの連携
7. 令和3年度心理教育相談所インターン選考基本方針・実施要項（案）
※書類審査委員・面接審査委員の選出

第9回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和3年1月13日（水） 12：20～12：40

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：松嵯、新井、小栗、鈴木、酒井、野島、前場、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 令和2年度心理教育相談所活動報告（12月期）
2. 令和2年度大学院学外実習報告（12月期）
3. 令和2年度不登校を考える親の会報告（12月期）
4. 令和2年度OB・OGカンファレンス報告（12月期）

第10回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和3年2月3日（水） 12：20～12：33

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：松嵯、新井、小栗、鈴木、酒井、野島、前場、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 令和2年度心理教育相談所活動報告（1月期）

2. 令和2年度大学院学外実習報告（1月期）
3. 令和2年度不登校を考える親の会報告（1月期）
4. 令和2年度OB・OGカンファレンス報告（1月期）
5. スーパービジョン研修会報告
6. 文京区教育センターとの連携
7. 令和3年度M2学外実習先
8. 令和2年度臨床心理士資格試験結果について
9. 令和3年度心理教育相談所開所日程（案）

第11回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和3年3月10日（水） 11：30～12：00

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：松壽、新井、小栗、鈴木、酒井、野島、板東、前場、宮岡、宮崎

- 内 容：
1. 令和2年度心理教育相談所活動報告（2月期）
 2. 令和2年度大学院学外実習報告（2月期）
 3. 令和2年度不登校を考える親の会報告（2月期）
 4. 令和2年度OB・OGカンファレンス報告（2月期）
 5. スーパービジョン研修会報告
 6. 文京区教育センターとの連携
 7. 令和2年度公認心理師資格試験結果について
 8. 令和3年度心理教育相談所インターン選考結果報告
新規＝8名、継続＝15名 合計23名が来年度インターンとして登録
 9. 令和3年度心理教育相談所インターカー選考結果報告
新規＝4名、継続＝6名 合計10名
 10. 令和3年度心理教育相談所オリエンテーション
 12. 令和3年度心理教育相談所講習会について（案）
 13. 心理教育相談所紀要 査読について